

Lieber Freund♪

NPO鳴門「第九」を歌う会だより

“友よ”

リーバー フロイント

発行：NPO法人 鳴門「第九」を歌う会事務局
TEL 088-686-9999 FAX 088-686-9994

http://www.tv-naruto.ne.jp/daiku/ E-mail : naruto_daiku@yahoo.co.jp

vol.12

2012年7月22日発行

第31回ヘート・ヴェンデル・第九交響曲演奏会



多くの皆様に支えられ、今年も華やかに高らかに歓喜のシンフォニー

鳴門第九演奏会に出演された全国の第九仲間の皆様、鳴門第九を裏方としてお支えいただいた多くのボランティアの皆様、賛助会員として第九運営のために温かいご支援をくださる皆様、そして鳴門第九をこよなく愛し応援してくださるすべての皆様のお蔭をもちまして、第31回鳴門第九演奏会が無事終了いたしました。ご協力本当にありがとうございました。

昭和57年5月、377名の鳴門市民によってスタートした鳴門第九演奏会も31年の時を経て、左右の花道までびっしりの600有余名の合唱団の大舞台となりました。

徳島県内の合唱団員の皆様には、鳴門第九の核になってリードしていただけるように、11月から始まった合唱練習に、遠く阿南・小松島・三好などからも熱心に参加されました。熱意あふれる先生方のご指導のもと、30回近くにおよぶ練習で、回を追うごとにめきめき上達されたとお聞きしています。

県外からご参加の皆様には、北海道から鹿児島まで全国から43団体400余名、更にはロサンゼルスから27名のご参加をいただき、第二の故郷のように鳴門を愛してくださる皆様のお力をいただいて、立ち

見の出る満席の観客の皆様の前で歌うことができました。

若々しく、一言一言が心にしみるような適切なご指導をくださった平井秀明先生の情熱的な指揮は、とても歌いやすく、素人の集まりの団員の合唱力を精一杯引き出してくださいましたように思います。

オーディション等によって選ばれたソリストの皆様には、本舞台と【美術館で「なるとの第九】】での第九・アリア等、併せて4回もの舞台を務めてくださいり、見事な歌声をご披露いただきました。

徳島交響楽団の皆様には、第1回から引き続いて、毎回大変お世話になっています。第九は勿論、今年もソリストのアリアをオーケストラで伴奏していただき、随分ご苦労をお掛けしたと存じます。聴いた方々からは、「オペラの舞台みたい!」と感動の声が聞かれました。

「第九アジア初演の地・鳴門」の第九が、多くの皆様に支えられ、今後ますます発展し、歌い継がれますように祈念いたしまして、お礼のごあいさつといたします。

(NPO法人 鳴門「第九」を歌う会理事長 大塚 道子)

全国の仲間が集う第九演奏会、美術館で歌う第九——
特色を生かした2つの演奏会は鳴門第九のニュースタンダード。
みんなで鳴門の財産を守り、もりたてていきましょう。

大盛況だった「第九の日」の演奏会



舞台を埋め尽くす出演者。毎年のことながら圧巻の光景です

象的。合唱団には、クライマックスに向けてじっくりと盛り上がりしていく構成力を、そして、「笑顔で歌って」と繰り返し指示されました。

近年、鳴門は第九アジア初演の地として、愛好者の間で「第九の聖地」と呼ばれるようになっています。日本全国はもとより、海外からも仲間が集い、鳴門第九の歴史を、また、第九の精神を音楽を通じて体現する——

鳴門の第九が“特別”なのは、そんな思いが込められているからでしょう。

笑顔で歌いきった今年の第九。平井先生からのご褒美の投げキッス、しっかり受けとめましたよ。



「最後の審判」「天地創造」など、ミケランジェロのあまりにも有名な作品に包まれて、合唱団も天井にいるような気分で歌いました。演奏会の後は、総延長4kmといふ館内をじっくり鑑賞しました



鳴門の新しい目玉イベントに

世界最大の旅行クチコミサイト「TripAdvisor」の「行ってよかった美術館＆博物館ランキング2011」で1位に選ばれた大塚国際美術館。昨年から始まったシスティーナ・ホールでの第九も、それに貢献しているかも?!——宗教画に彩られたホールに響く第九は荘厳な雰囲気で観客を魅了しました。また、L.A.Daikuは東日本大震災の犠牲者に捧げる「Fukushima Requiem」を披露。美術館と協力して、鳴門第九の新しい名物に育てていきたいですね。



指揮者のジェフリー・バーンスタイン氏作曲の「Fukushima Requiem」を歌うL.A.Daiku有志の皆さん

待望の県人ソリスト・錦木健司さんからメッセージをいただきました



ソリスト公募を始めて4年目、徳島県出身のソリストをお迎えすることができ、私達の喜びもひとしお! すばらしいバリトンソロに聴きほれました

良いコンサート、良い企画、そして何より素晴らしい演奏家の方々がお集りになり、全国、世界からまたお客様、演奏者が集まって、足跡を残し去って行くというのが、鳴門の醍醐味ですね!

打ち上げでは鳴門の名産品がずらりとならび、ちくわを食べながらニヤリとしまいました。どこまでもネタが尽きないんですね、楽しませてくれようとする人々の心意気、そしてやさしさ。

自分自身県人として鳴門第九に育ててもらいました。夢が憧れにかわり、そして今は励みとなっています。公募という分け隔てないチャンスを自分にも与えてください、また目に見えない形で励みとなつて

らっしゃる他の県人の方もいらっしゃるのかも。

鳴門市をあげて、これだけ素晴らしい企画! もはや音楽祭に匹敵するほど、規模も中規模で、大きくなりすぎず絶妙なバランスがいい! ある意味で難しい運営もあると思いますが、事務局の方の企画、いわば経営手腕が非常に素晴らしいんでしょうね。立ち上げるのも大変、そして何より続けていくことに何よりのご苦労がおありだと思いますが、鳴門市の、ひいては徳島県の文化、芸術発展の不可欠な要素として、鳴門第九が今後も発展していってくださればと祈ってやみません。またお会いしましょう!

「おかえりなさい」と、全国の第九仲間が心から迎えました。第九を歌うことでエネルギーをチャージして帰ってくれば何よりです

微笑みの第九

ふくしま第九“すみだ歌う会” 荒井 秀泡 さん

3. 11——あれから1年3ヶ月。数えきれぬ程今もなお続く恐怖の余震、待ちにまつた家屋の補修もようやく始まったメンバーの面々。我が福島県は東京電力原子力発電所事故で拡散された放射性セシウムの悪影響はあまりにも大きく、自慢の米・野菜作りの農業、酪農、漁業や果樹園、商業、風評被害もあいまって観光地の旅館など施設に追いやりられています。明日への希望を無くし孤独死も増えている始末。幼い子を持つ若い家族は県外に出たまま家にまだ戻れず不自然のままです。福島原発事故の収束もままならないまま安全を無視しての利権優先の原発稼働には不安が募るばかりです。

今、福島被災地では内部被曝放射線量の測量、土壤・緑地の除染に追われており、如何に放射線量を下げるかデータとの戦いで汚染処理・仮置き場にも行く先がなく困り果てています。復旧復興はまだまだ先の話です。そんな中で音楽家・芸能人など種々沢山の方々による復興支援の演奏会を開催、「復興福島・元気に頑張れ」と励みを頂いております。

原発避難者を受け入れている被災の我々ですが、事を起こすことも出来ずに受け身のみでした。歌を唄うことを忘れたカナリアになっていました。我らに鳴門第九合唱の皆様から寄せられた暖かい義援金は自由・平和提唱の我ら第九合唱団へ希望・光を与えて頂きました。鳴門第九合唱団の皆様から



ふくしま第九“すみだ歌う会”的皆さん。「福島に帰ると深刻な問題が待っていますが、第九を歌うと元気が出ます」と荒井さん(左端)

「一緒に第九を歌いましょう」とのお誘いにやっと再起し、今回2年ぶりに7名で鳴門第九に参加することが出来ました。徳島新聞・NHK報道関係の方々を始め、全国からの参加合唱メンバー多数の方々から励ましの言葉をいただき、強く「第九友情」を感じることが出来ました。

幸いな事に今回の若手指揮者・平井秀明先生の「笑顔で歌って」のアドバイスに、鳴門第九演奏会本番と大塙国際美術館では風評被害払拭・福島復活を「第九」に託し笑顔をつくりながら歌い上げることが出来ました。

10年目にして最高の「微笑み第九」。このような心に残る感動の第九は、鳴門「第九」を歌う会、そしてスタッフの皆様のお陰と深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

皆様から寄せられた義援金は2日間で49,526円。鳴門「第九」を歌う会からパンの売上等を足して、計60,000円とし、被災された岩沼みんなで歌う第九の会、会津第九の会、ふくしま第九“すみだ歌う会”に20,000円ずつを義援金として贈らせていただきました。ご協力に心より感謝申し上げます。



10回以上参加されている方もいるというみな月第九を歌う会の皆さん。「アットホームな雰囲気でとってもよかったです。食べ物が美味しいくて、空気も澄んでいます。毎回感動します」



大田区民第九合唱団の
大勝京子さん、木下靖子さん。

大勝さんは10回、木下さんは9回目です。
「素晴らしい演奏会で今年も泣いてしまいました。心がこもったお接待に感激しています」

おなじみ、かごしま第九を
歌う会の重久 瑞さん。
「来年制作予定の陶板、
楽しみにしています」



「楽しかった! スポットライトを浴び、オーケストラに合わせ歌っていい気持ち!」と、鳴門教育大学の女子大生4人組



「昨年、豊橋第九の打ち上げで亀井さんよりぜひ鳴門にとお誘いを受け初めて参加しました」という豊橋のハーモニー・グリーンの皆さん。「生命力のある演奏会でした。運営も至れり尽くせりで安心して参加できました」と。来年もお待ちしています!

活動の 記録

第九を通した音楽文化の普及、地域や全国の仲間との交流も私たちの大変な活動です。
今年もたくさん練習し、たくさん歌いました♪

県内研修

◆平成23年度総会&研修会

2011.7/10 於：鳴門市ドイツ館 80名参加

総会の後は、鳴門市出身の二人の演奏家による「ひまわりコンサート」。日本フィルハーモニー交響楽団で活躍されている打楽器奏者・福島喜裕さんが楽しい解説を交えながらマリンバやスネアを演奏。2010年秋にイタリアから帰国した榎大輔さんは「樂に寄す」などを美しいテノールで聞かせてくれました。独唱と打楽器のコラボという珍しい演奏形態の「扉を開けると」は、不思議な雰囲気の作品でした。



◆第3回フジグラン北島で「第九」を歌おう!!

2012.2/19 於：フジグラン北島 120名参加



ショッピングモールに響く第九

「東日本大震災復興への祈りをこめて」という副題を掲げてフジグラン北島で第九演奏会を開催。阿南や三好の仲間も交え、センターコートいっぱいに歌声を響かせました。

指揮：山田啓明 ソプラノ：佐川理恵子、真鍋美恵 メゾソプラノ：戸邊祐子 テノール：頃安利秀 バリトン：北村僚真 ピアノ：長岡恵・吉成くみ

県外研修

◆2011「かがわ第九」演奏会に参加

2011.11/6 於：香川県高松市・アルファあなぶきホール

◆会津第九演奏会2011に参加

2011.12/18

於：福島県会津若松市・會津風雅堂
会津第九演奏会が4年ぶりに開催。
鳴門からも10名が参加し、約240名が
東日本大震災からの復興を願い、心
をひとつにして歌いました。雪に
包まれた美しい会津の風景、東北
の皆さんのがひたむきに歌う姿に
胸が熱くなりました。



グッズの開発・販売



昨年大好評だった第九Tシャツとレッスンバッグ。今年は公募デザインの柄でキッズサイズも制作したところ大人気で、早々に売り切れてしまったサイズも…！ 練習中、ふと会場を見渡せば、皆さんいろんなバージョンの第九Tシャツを着ていらして、うれしくなりました。

コーラス9

◆第九フェスティバル in 板東

2011.8/21 於：鳴門市ドイツ館

指揮：大井美弥子 ピアノ：平賀理絵



◆ドイチエス・フェスト in 鳴門

2011.10/30 於：鳴門市ドイツ館

指揮：大井美弥子 ピアノ：平賀理絵

色とりどりのオリジナルTシャツでさっそく。若々しくて素敵！

◆鳴門市芸能祭

2011.11/27 於：鳴門市文化会館
シユーベルトのミサ第2番からCredo、Sanctusを演奏。言葉の多いCredoには苦労しましたが、モノになってきましたね。拍手！

指揮：大井美弥子 ピアノ：平賀理絵

◆コーラス9 第7回演奏会「クリスマスコンサート」

2011.12/23 於：鳴門市ドイツ館

コーラス9も結成から早や10年。2011年は名曲と名高いシユーベルトのミサ第2番 ト長調 D167に取り組み、鳴門教育大学の先生方のご協力を得て、第7回の演奏会を行いました。夏の第九、冬はミサがすっかり定着してきました。

指揮：山田啓明 ソプラノ：佐川理恵子、真鍋美恵 メゾソプラノ：戸邊祐子 テノール：頃安利秀 バリトン：北村僚真 ピアノ：頃安三紀、平賀理絵 フルート：渡邊昌代 合唱指導：大井美弥子



ラテン語も慣れたもの(?)。ドイツ館に美しい
ハーモニーが響きました。
今年はクリスマスコンサートはお休みです

◆第27回国民文化祭に参加します♪ Chorus9

青天霹靂の二度目の国民文化祭。鳴門市でも、とくしま記念オーケストラとの共演による「市町村連携コンサート まちが奏でるクラシック in 鳴門市」が行われ、コーラス9も地元合唱団とともに参加します。6月から大井美弥子先生の指導のもと、楽しい練習が始まっています。いつしょに参加しませんか？

市町村連携コンサートまちが奏でるクラシック in 鳴門市

11/7(水) 18:30~ 於：鳴門市文化会館

問合せは浅野 ☎088-686-1296



●我らが浅野司郎さんがこのたび瑞宝双光章を受賞されました。心よりお慶び申し上げます！…と言ったら、照れくさうに頭をかくばかり。そう、これが司郎先生なんです。

●裏方スタッフに、今年はトランシーバーを導入。密に情報交換しながら舞台進行、取材を進めました。その成果やいかに？(広報委員一同)